

(一財)大豊町観光開発協会

～山の暮らしを宝にかえて交流で地域を元気に～



ラフティング体験



大学との連携によるモニターツアー【お茶摘み体験】

経緯

○交流の活発化による地域の活性化を目指して、山村における「生活の営み」や「生産の営み」などの人や地域が持つ魅力と、ラフティングやトレッキングなど自然を生かしたアウトドアスポーツの魅力を体験型教育プログラムとして構築し、(一財)大豊町観光開発協会を窓口として販売。

取組内容

- 海外からの民泊受入に向け、経験をもとに体験プログラムの改善を図る。
- グリーンツーリズムインストラクターを養成し、体験実施者のスキルアップを図る。
- 吉野川ラフティング体験の予約簡便化を図るため、「大豊町ラフティング部会」を設立し、予約のワンストップ窓口化など、受け入れ態勢を整備。

活動の効果

- 教育旅行の受入人数が平成28年度から徐々に増加。令和2年度は既に12校、1,459人の予約を受注。
- 養成したグリーンツーリズムインストラクターが地域のリーダーとなり、体験プログラム実施者としての意識の向上やメンバー全体のスキルアップにつながった。
- ラフティング受入の体制整備を行った結果、受注件数が大幅に増加。
- 教育旅行を対象とした民泊受入を推進する中で、一般旅行者にも範囲を広げる家庭が出てくるなど、交流を活発化することにより地域に活気が生まれる。

応募団体からのアピール・メッセージ

嶺北地域は山里の暮らしが今もなお残っている自然豊かなところ。また、「土佐あか牛」や「はちきん地鶏」、「棚田米」など食の魅力も高い地域です。暮らしの体験で知る知恵や技、人と人との交流の素晴らしさを是非、体験してください。